

知と美の調和をめざして——

弘前市立博物館の役割

当館は、弘前藩政の要となった弘前城跡三の丸に、昭和52年4月に開館しました。津軽の歴史・美術工芸等の資料の収集・保管・展示・調査研究を通じて、地域文化の向上に努めています。

市民が郷土をよく知り、郷土を愛する心を育てる社会教育施設として、また、城下町弘前の観光拠点のひとつとして多くのみなさまに愛され親しまれるよう、活動してまいります。

前川建築の魅力

弘前市立博物館は、日本近代建築の巨匠・前川國男により設計されました。外壁・内壁の打ち込みタイルや、館内ホール壁面のコンクリート研り仕上げなどが特徴です。広々としたロビーからは、弘前公園の景観や天気が良ければ岩木山も望むことができます。

受賞歴

- BELCA 賞(1997年)
- 公共建築百選(1998年)
- 弘前市景観重要建造物(2014年)

企画展

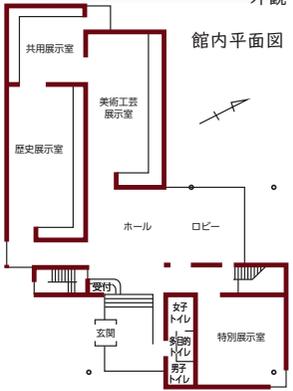
津軽の歴史・美術工芸等を紹介する展示を行います。

特別企画展

国内外の著名な人物、その作品や美術品などを紹介します。



外観



重要文化財 猪形土製品

常設展 ひろさきの歴史と文化 ~原始から近現代へ~

旧石器から近現代までの弘前の歴史を、各時代を特徴づけるテーマを設けて紹介しています。

常設展のようす



ご利用案内

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

休館日 毎月第3月曜日(祝日・休日の場合は翌日)
年末年始休館(12月29日～1月3日)
※展示替え期間中は休館 ※特別企画展の会期中は無休

観覧料	料金表	一般	高校生・大学生	小学生・中学生
通常(団体)	300 (220)	150 (110)	100 (50)	
共通券(団体)	420 (310)	210 (160)	140 (70)	

※共通券は高岡の森弘前藩歴史館との共通券の料金
 ※特別企画展は料金が異なります(期間中、共通券はご利用いただけません)
 ※共通券は博物館と歴史館を1回ずつ観覧できます
 ※団体は20人以上です

入館が無料となる方	※確認できる手帳や身分証明書・学生証などをお持ちください	
65歳以上の弘前市民	障がい者手帳をお持ちの方	弘前市内の小中学生
弘前市内の留学生	ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方	

交通案内



○電車・バスの場合…東北新幹線新青森駅より電車で40分、JR奥羽本線弘前駅下車、駅より土手町循環100円バスで「市役所前」下車、徒歩5分。または弘南バスで「市役所前公園入口」下車、徒歩5分。
 ○お車の場合…東北自動車道 大鰐弘前ICより30分。
 ※博物館専用駐車場はありません。近隣駐車場をご利用ください。

弘前市立博物館

Instagram



Facebook



公式Webサイト



マスコットキャラクター いのっち

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町1-6 弘前公園内
電話 0172-35-0700 Fax 0172-35-0707

弘前市立博物館 令和7年度 年間展覧会案内

Hirosaki City Museum



渡邊榮一「パレット」 (笠間日動美術館蔵)

4月 April

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月 May

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月 June

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月 July

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月 August

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月 September

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

令和6年度 企画展3

佐野ぬい追悼展 monochrome、そして blue

～ 2025.5.6

弘前出身の洋画家・佐野ぬいは青色を基調とした抽象画を描き「青の画家」と称されます。2007～2011年には女子美術大学学長を務め、2012年には瑞宝中綬章を受賞するなど、現代日本を代表する洋画家の一人です。その活躍から2015年に弘前市名誉市民となりました。博物館では、2023年に逝去した佐野ぬいをしのび、追悼展を開催します。



「忍ぶ草」文化11年(1814)

令和7年度

特別企画展1

巨匠たちのパレット&絵画展 名画誕生の秘密

2025.5.16～7.13

画家のパレットには、名画を生み出す秘密が隠されています。本展覧会ではピカソやマティスといった海外著名作家に加え、梅原龍三郎や林武といった近代日本の巨匠たちのパレットと作品と一緒に展示します。作品だけでは分からない画家たちの創作の真髓がご覧いただけます。



アンリ・マティス「パレット」(笠間日動美術館蔵)



渡邊榮一
「少年王國」
〈アリス、君は誰なの?〉
(笠間日動美術館蔵)



竹森節堂
「ねぶた額絵」

ヤーヤドー！ ねぶたの今と昔

2025.8.1～9.28

幕末に描かれた現存最古のねぶた絵の他、博物館が所蔵するねぶた絵、関連する絵画や写真、資料などを展示します。江戸から現代まで続く弘前ねぶたの歴史を、分かりやすく紹介します。

※展覧会の日程・内容は変更になる場合があります。詳しくはホームページ等をご確認ください。
※特別企画展開催中は常設展を一部縮小、又は展示しないことがあります。

企画展2

ひろさき歴史大図鑑

前期：2025.10.18～11.16
後期：11.22～2026.1.12

常設展では紹介しきれない考古資料や古文書・絵図・工芸品などを展示し、原始から近現代に至る弘前の歴史や文化を改めて広く紹介します。会期の前後期で内容を一部変更し、特に前期では初代藩主・津軽為信所用の「太刀 銘 友成作」(重要文化財)を借用展示します。

特別企画展2

ネコライオン

2026.2.7～5.10

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭が、世界各地で捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを対比して展示することで、私たち人間がどこかに忘れてきてしまった“野生”を浮き彫りにしていきます。



ネコ：オーストラリア
アデレード近郊
ライオン：タンザニア
ンゴロンゴロ
自然保護区
©Mitsuaki Iwago

ネコは小さなライオンだ。
ライオンは大きなネコだ。
岩合光昭

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					